



「笑顔とつながり」

永田台

サステイナブルスクール

No.560 7月号
横浜市立永田台小学校
TEL(714)4277
令和4年6月30日



進んであいさつ
笑顔あふれる
住みよいまちに

働きかけると変わる

校長 松本 久美子

永田台小学校が、環境省から「地域環境保全功労者表彰」をいただきました。

昨年度、横浜環境活動賞をいただいたことをきっかけに、環境大臣表彰に推薦していただき、先日立派な賞状と副賞の電波時計をいただきました。2年前の活動「地域の協力を得ながらの米作り」「校内ビオトープの保全」「カワナナの飼育」「黒メダカの放流」などを行ったことが、地域の環境を守ることに真剣に向き合った姿勢として評価された結果です。

現在はそれらの活動のすべてを継続しているわけではありませんが、永田台小学校が、また別の視点で地域の環境を守り、さらに良くしていこうという活動も行っていることは確かです。

「地域とかかわって、まちを良くしていきたい」「学校の施設や生き物を大切にしていきたい」という気持ちが表れている活動が、学級や委員会活動などのあちこちに見られています。身の回りのことを追究することは小さな一歩かもしれませんが、その積み重ねが周囲の環境を良くしたり、地球環境について考えたりすることにつながります。

また先日は、6年生の石井羽瑚さんが横浜国際平和スピーチコンテストの南区予選会に学校代表として出席しました。自らの経験を通して障害のある人の気持ちに寄り添い、自分たちができることを深く考えたことがよく伝わるスピーチでした。残念ながら区の代表は逃しましたが、石井さんのスピーチも決して引けを取らないものでした。

それに付随して、6年1組が「ヘルプマーク」の紹介を行いました。石井さんのスピーチに出てくるものなのですが、どんなものかわかるように絵を添えて、「ヘルプマークを付けている人が困っているところを見かけたら進んで助けましょう」という呼びかけもしました。石井さんの心意気が周囲を動かしたのだと思います。

「働きかければ周囲が変わる」そのような経験を、永田台小学校の子どもたちは積み重ねています。

